

燠柁*蕝屈[㊦] 妄奢升澡・蘩濟做 燠

理事長 奥山 葉月

今年8月30日「障害者総合福祉法の骨子に関する総合福祉部会の提言」が発表され、障がい者制度改革推進会議(以下、推進会議)は9月26日、その提言を了承し、内閣府特命担当大臣に手交した。9月27日には内閣府特命担当大臣から厚生労働大臣へと報告され、今後、厚生労働省が法案作成を担当することとなった。

骨子の提言は2006年に国連で採択した「障害者権利条約」、2010年1月に国(厚生労働省)と障害者自立支援法訴訟原告ら(71名)との間で結ばれた「基本合意文書」が基礎となっており、「障害のない市民との平等と公平」「谷間や空白の解消」「格差の是正」「放置できない社会問題の解決」「本人ニーズにあった支援サービス」「安定した予算の確保」をめざすべき6つのポイントとしてあげている。

障害者総合福祉法については、サービスを利用する側だけでなく事業者や自治体関係者、研究者なども交えて議論する必要があるとして、推進会議は昨年4月、55名が参加する総合福祉部会を設置し、議論されてきた。

人数もさることながら、これだけ立場の異なった人たちが認めあいながら、共通するものを作り上げるのはとてつもない苦勞だったのだと想像できる。この骨子を元に「障害者総合福祉法」が作成されたら、私たちはどれだけ生きやすくなるだろうとわくわくする。骨子から離れたものとならないよう、また絵に描いた餅とならないよう、今後も注目していかなくてはならない。



(鶴園 誠)

<相談支援事業>

3月11日に東日本大震災が起こり、上半期は長期的な震災の影響による疲労やストレスが様々な形で出ています。個人差はありますが、不安が強い、寝つきが悪い、食欲不振、過食などを話す方が多かったと思います。そのような中ではありましたが、日常生活を崩さないように生活状況、個々の目的や課題、目標について一緒に確認するなどの相談をご利用いただきました。下半期はご家族の方とも交流を持てる機会を作って行きたいと考えています。

<地域活動センター型>

今年度も、火曜日から土曜日の曜日別のプログラムを行なっています。それぞれのプログラムの様子をご報告させていただきます。

レディースday (第2・4火曜日 14:00~16:00)

最近では、フリートークを中心とし、女性のプログラムらしく編み物への挑戦、アロマを使った癒しの時間を楽しんだりしました。平均で6~8名の方が参加しています。

出るday (毎週水曜日 14:00~16:00)

ここでは、引きこもりがちになっている方や、家や病院以外の外出先の第一歩として、ご利用いただいています。ひとりでの外出が難しい方は、職員と一緒にパティオへ来てみるところから始めている方もいます。プログラムではゲームや塗り絵などを中心に行なっています。対人緊張の強い方など、リラックスできる雰囲気心がけています。

夕食サービス (毎週木曜日 16:00~19:00)

夕食サービスでは調理は板長さんと呼ばれる料理上手なパートの方に来ていただいています。1人の食事ですと、適当に済ませてしまったり、準備や片付けのことを考え、抜いてしまうことも少なくないと思います。週に1回は、美味しい手料理でパワーを溜め、ご飯を食べる時間を楽しんでいます。

お茶の子ハイサイ (毎週金曜日 10:00~12:00)

お仕事や作業所への通所を目標にされている方を対象に毎週、午前中に行なっています。初回にはご本人と一緒にこのプログラムに参加する目的、自分の課題を決めます。新しい社会に出ていくにあたり、生活リズムが作れているか？身だしなみは整っているか？集中して作業ができていますか？他の参加者と協力してできているか？他のパティオプログラムとは一味違ってピリッとした内容となっています。

ILP：自立生活プログラム (第2・4金曜日 14:00~16:00)

ILPプログラムでは、第一期「ストレス発散」第二期「自分らしい生き方」をテーマに行ないました。第二期「自分らしい生き方」では、自立支援法となつて変化した制度について立川市障害福祉課精神担当主査の方にご説明いただいたり、立川市内の他機関の見学に行きました。他機関を見学することで、今後の選択肢に役立てて頂けたらと思います。

マナブとケイコ (第2・第4土曜日 14:00~16:00)

上半期では、アートに挑戦してみようということで、外部講師の方をお呼びしてプログラムを行ないました。内容としては、風鈴やガラス瓶に絵を付けたり、チョークアートに挑戦したり、皆さん自分の感性の向くままに作品を仕上げ、ひとつひとつ味のある作品に仕上がっていました。



(久木野 明日香)

[illegible]

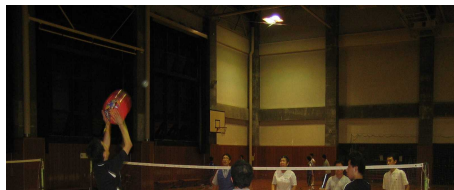
新規利用登録者は8名でした。新規相談では、就労移行支援施設や企業からの相談がやや自立しました。就職件数は11件でした。定着支援では、支援学校の新規学卒者への対応や酷暑のため体調を崩す方も見られ大変でした。準備訓練プログラムでは、高齢者施設清掃実習に5名、市役所庁舎実習に8名が参加しました。

その他のプログラムとしては、お楽しみ会(知的障害者対象)を6月、9月に実施しました。1回目は、震災を踏まえて防災に関する生活講座を開催しました。地震発生時の職場での対応、通勤や

連絡に関する配慮など、立川市防災課長からお話を頂きました。2回目は初めてのスポーツ大会を行いました。市民体育館を貸切り、ソフトバレーボール、バトミントンなどを、汗を流して楽しみました。参加者からは好評価を得ました。また茶話会(精神障害者対象)を開催しました。職場や仕事の苦勞や悩みについて話し合いました。参加者からは、「みんな同じように人間関係の悩みや苦勞を抱えていることが分かり共感できた」、「他の職場で働く様子を知ることができてよかった」といった感想を頂きました。

地域ネットワークについては、多摩ブロック会(自治体主催の事業連絡会)が、8月に府中市の幹事で開催されました。株式会社ベネッセビジネスメイト(特例子会社)より「企業と就労支援センターの連携」についてのご講演がありました。また会の実施方法について、全多摩地域対象の形を発展的に解消し、自治体として地域のハローワークや就労支援センターとより密接な連携が図れるように、多摩地域を3エリアに分割実施する議案が出されました。全多摩地域対象は今回が最後になり、今後は3エリアに別れての開催になります。加えて、各市就労支援センターによる任意連絡会が、2ヶ月ごとに実施されています。これは全多摩地域対象で実務担当者レベルの連絡会です。これまでは各センターが幹事を持ち回りしていましたが、センター数が増え負担が大きくなったため、今年度から幹事会を設置して開催されています。年間計画をつくり、「新規相談受入れ～定着～離職」の就労支援の流れに沿って、テーマを設け学習会を行なっています。6月は「新規相談受入れ(生活課題の多い方の例)」、8月は「準備支援・アセスメント(3センターのアセスメント方法)」をテーマに事例報告と意見交換が行なわれました。

また立川市自立支援協議会就労専門部会では、知的障害者通所施設職員向けに2回シリーズで、学習会を行ないました。1回目は、立川福祉作業所から個別支援事例の報告を頂きました。自閉症圏で行動障害のある方の問題行動を大幅に改善し、作業への積極的参加や能率アップを通して工賃を何倍にも増やせたというお話でした。個別支援の大切さを学ぶ機会でした。2回目は、就労移行支援施設(村山苑)と就労支援センターの連携事例報告でした。村山苑と当センターで、通所訓練から就職に至る個別支援の経過について、「連携」をテーマにお話しました。移行支援施設は通過型であり必ず卒業するため、本人の在住地域の必要な社会資源との連携が必須とのお話が村山苑からありました。下半期も震災不況に負けぬよう、引き続き支援に努めて参りたいと思います。(井上 貴央)



瀟灰紂薑 y 焜

然瀚炫螭炎蛭璺煊螭少灸红纆纆瀟然

今回ご紹介する株式会社サンドラッグ・ドリームワークスは
全国に約800店舗を展開する大手ドラッグストア、株式会社
サンドラッグの子会社で、特例子会社としての認定を目指して
今年2月に設立されました。現在、10名の障害のある方が
本社をはじめ様々な場所で事務補助、清掃、軽作業等の業務に
たずさわっています。



磅纤灞濇寸灸碰灝蠅寫炫瀏

南武線矢川駅から徒歩25分のところにあるサンドラッグ
国立物流センターの一角では、今年3月から全国の店舗から回収したユニフォーム（店員さんが着用するブルー、ピンク、白の白衣）を仕分けてクリーニング業者に渡し、できあがったものをたたんで、店舗に戻すという業務（白衣管理業務）が行なわれています。立ち上げ時から3名の障害のある方がたずさわっていますが、そこに8月からセンターが支援する横田さんが加わりました。

横田さんは中学卒業後長年働いてきましたが、途中で視力・視野障害をもち、景気の悪化にもなっ
て派遣の仕事もなくなり、自宅ですごくようになって昼夜逆転の生活をしていました。3年前に当セン
ターに登録しましたが、まずは生活リズムを取り戻すことから、市内の福祉施設（就労移行事業）に通所
し、就職を目指しました。きちんと通所できるようになってからは、たくさんの面接を受けましたが、視
覚障害のために職種が限定され、なかなか就職が決まりませんでした。

5月に実習のお話をいただいたときには、ユニフォームのタグを見てサイズごとに仕分ける、伝票で種類とサイズと枚数を確認してただユニフォームをピッキングしていく、伝票に文字を書き込むなどの目を使う作業が本当にはできるのか心配でしたが、目をタグや伝票に5センチくらいまで近づけると判別でき、一つ一つ確実にこなうため、かえってミスなくできることがわかり、採用となりました。

この白衣管理業務は日曜日を除く週6日で、曜日ごとに作業内容が決まっており、とてもわかりやすく業務が組立てられています。また、ミスは許されないため、仕分け・ピッキングとも必ず2名でチェックする体制をとっています。開始から半年たち、現在4名(うち1名はリーダー)の障害のある方だけでほぼ業務をこなすことができるようになっていきます。ちなみに横田さんの勤務は週5日、10時～17時です。

横田さんは少し時間にルーズなところや身だしなみに課題がありましたが、就職してからは遅刻もなく、ひげもきちんとして剃れています。オリコンをかかえてテキパキ歩く姿など、以前とは別人のようで、全身からやる気がみなぎっています。それは厳しい中にも和気あいあいとした職場だからだと思います。自分が仕分けたものを他の人にチェックしてもらうときは「お願いします」「ありがとうございます」などの言葉が飛び交い、ミスがあれば互いに指摘、謝罪しあい、質問すればやさしく教えてもらえる、そんなフランクで励ましあえる職場環境が横田さんのモチベーションを高めているのです。

マッチする^{しごと}仕事、仲間にめぐりあえた横田^{よこた}さんが、長くサ
ンドラッグ・ドリームワークスの社員^{しゃいん}として働き続けられる
よう、当^{とう}センターとしてもしっかり支援^{しえん}していきたいと考^{かんが}え
ています。

(しらべたかこ
白部貴子)



潑炒羸玄濬漕瀘^{激礮}撫澡蟻渚

[illegible]

シーアイエルたちかわ きょうりょくいん ちから あ がつ にち
C I L 立川の協力員で力を合わせて、4月24日
(日) 国営昭和記念公園にて開催された「春の楽市」に
出店しました。

天候にも恵まれ、たくさんの方がお店（カフェ ぴあ）に足を運んでくれました。温かい飲み物の販売、そして手作りの創作品を店頭に並べ、来てくれたお客さんが手にとって見てくれたり、飲み物を口にしながら、同じ地域に暮らす障害のある私たちとふれあい、知ってもらう機会となりました。

昨^{さく}年^{ねん}度^どは「秋^{あき}の楽^ら市^{いち}」に出^{しゅつ}店^{てん}する予^よ定^{てい}が、台^{たい}風^{ふう}の影^{えい}響^{きやう}
 で中^{ちゆう}止^{しゆう}となっ^なてしま^{しま}い^いま^まし^した^たが、そ^その^の分^{ぶん}み^みん^んな^なで力^{ちから}を合^あ
 わ^わせ^せて楽^{たの}しく出^{しゅつ}店^{てん}で^でき^きま^まし^した^た。来^{らい}年^{ねん}も^もぜ^ぜひ「春^{はる}の楽^ら市^{いち}」
 でみ^みな^なさん^{さん}とお会^あい^いし^した^たい^いと思^{おも}い^いま^ます。



礮潭濛 澍碰 濛濛易撲

（おおいしこうじ
大石幸治）

濁淵蠅蟻 磳画荀荀 潭溪菊 豐澗激 澇渴漸漢 漬

煩舊藥蝟劉炎灸 穎 埜澡蟪滂碭嶂潦潢黃焮燠好縶 ● 璚墀澡螽滂濞訢討兩燠渰

当センターの障害者スタッフ（筋ジス）が重い肺炎になり、かかりつけの専門医療機関より気管切開が必要との治療方針が示されました。しかし、ご本人は気管切開の必要はないと感じ、別の医療機関の医師にセカンドオピニオンとして関わっていただき、病院や関係機関と治療方針について相談・調整を行いました。

ご本人が希望した治療方針が、かかりつけの専門医療機関には受け容れられず、他のC I L 団体よりご紹介いただいた国立病院機構八雲病院へ転院し、治療を受けることとなりました。

5月31日、元気になったご本人がリーダーとなり、この経験を基に、病院との付き合い方や、いざという時にどうしたらよいかを考えるプログラムを行ないました。

当センターの利用者で医療的ケアを必要としている人や、これから障害が重くなる可能性のある方などに声をかけさせていただき、予想を大きく上回る20名の方に参加をいただきました。皆さんの関心の高いテーマであったのではないかと思います。

「医療に対する不安をこれからは皆で共有したい」「医療のケアができるヘルパーを育てていきたい」などの感想をいただき、積極的に自分で選んで決める医療との付き合い方を考える一歩となりました。



のぐちとしひこ おくやまはづき
(野口俊彦・奥山葉月)

[illegible]

3.11を経て、障害者が地域で生活することの大切さと大変さを、改めて実感した数ヶ月でした。今回は「現実」の中で体験した災害から、少しでも今の自分たちの生活に活かせる準備をするため、防災ではなく「減災」をキーワードに8月10日、24日、9月14日の3回シリーズで行ないました。

3.1 1に感じた、^{かん}命・^{いのち}生活への^{せいかつ}不安、^{ふあん}恐怖などの^{きょうふ}気持ちの^き聞き^き合い（^{さんかしゃ}参加者10名）^{めい}

3つのツールやゲームを使い、^{つか}具体的な減災対策^{ぐたいてき}の検討^{げんさいたいさく}（参加者8名）^{けんとう} ^{さんかしゃ} ^{めい}

いま で き わたし げんさいたいさく はっぴょう さんかしゃ めい
今出来る「私の減災対策」の発表（参加者9名）

という段階を踏み、参加者全員で自分にとっての「減災」を考えていきました。

「備えあれば憂いなし！」どんなに大きな不安も、具体的な備えにむけたパワーに変えることにより、自分たちの地域生活の安定に繋がります。これからも「無理なくコツコツ」備えていきましょう！

(鈴木徳子)

環 境 汚 染 減 災 報 告 書

自立生活センター・立川では、内山綾子さんと泉口哲男さんにご協力頂き、同じ知的障害のある仲間に向けた情報提供や、プログラムの実施などの活動を行なっています。

【うっちい散歩】

街の中で不思議に思うことや気になること、分からないことを出発点に“うっちい散歩”と名付け、その疑問点などを調べ、記事にして配布しています。

昭和記念公園お花見編 2011年4月15日実施

桜の木の下で美味しいお弁当を食べました。風が強く桜の花びらが落ちてとってもきれいでした。気持ちがよくて、お昼寝もしちゃいました。

わんちゃんがいっぱいいて、水を飲んだり、お散歩したりしていました。

小さい子供もいて可愛かったです。桜以外のお花もいろいろな色や種類があって、とってもきれいでした。



内山さん感想 うっちい散歩記事～昭和記念公園お花見編～より抜粋

国立極地研究所・南極・北極科学館編 2011年6月10日実施

プラネタリウムみたいところで観たオーロラが良かったです。顕微鏡で見た鉱石もきれいでした。北極ギツネ、ペンギン、アザラシなどたくさんの動物の剥製があって楽しかったです。ここが無料で入れるのはお得だと思います。



内山さん感想 うっちい散歩記事～南極・北極科学館編～より抜粋

【東京スカイツリーをみにいこう～うっちいとゆかいななかまたち～】 2011年6月17日実施

日頃、なかなか行く機会のない場所へみんなで出かけ、新しい発見をしたり、活動の幅を広げてもらうことを目的とする「お出かけプログラム」を行ないました。(参加者2名) オープン前の東京スカイツリーをみて、その周辺を散策するという内容です。参加者からは「スカイツリーが大きくてびっくりした。完成したらまた行きたい。」「地域のキャラクターおしなりくんに会えてよかった。お土産も買えて楽しかった。」との感想をいただきました。(栗田 衣里菜)



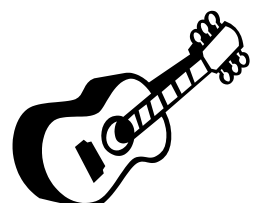
新人紹介

- しんじんしょうかい -

初めまして。永井純也と申します。4月から就労部門で勤務しています。

趣味はバイクとギターと温泉です。

まだまだ未熟者ですがよろしくお願ひします。



好澍碍並= 潯 瓊 / 1 燠9 / 30 蝶

() は担当部門名 C I L ・ H L ・ 就 労 ・ パ テ

【イベント・行事の実施】

(C I L)

- ・避難訓練(6/1)
- ・出前講座(立川高校, 西砂小, 七小)
- ・知的プログラム(6/18)
- ・ランチタイム(6/22, 7/20, 8/22, 9/16)
- ・内部研修(7/29)
- ・防災プログラム(8/10, 8/24, 9/14)
- ・協力員歓迎会(9/2)

(就 労)

- ・お楽しみ会(6/3, 9/6)
- ・茶話会(9/3)

(パ テ ィ オ)

- ・多摩スポーツセンター宿泊懇談会(7/21)

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・立川市災害ボランティアネットワーク(6/2, 7/6, 9/8)
- ・柴崎町防災訓練会議(6/6, 7/14)
- ・障害のある人もない人も暮しやすい立川市を考える会(6/7, 7/7, 7/15, 8/25, 9/22)
- ・障害のある人もない人も暮しやすい立川市を考える会
地区別懇談会(6/8, 7/13, 8/23)
- ・多摩療護園わづまハーソク(6/8, 6/23, 7/21, 8/18, 9/8)
- ・立川市障害者施策推進委員会(8/30)
- ・ユニバーサルデザインレビュー(9/2)
- ・人権擁護委員会(9/6)
- ・立川市合同防災訓練(9/11)
- ・防災まち歩き(9/17)

(H L)

- ・立川市障害者週間実行委員会(7/5, 8/1, 9/8)
- ・立川市自立支援協議会生活専門部会(9/8)
- ・H L 検討委員会(9/26)

(就 労)

- ・多摩就労支援事業委託団体連絡会(6/17, 8/19)
- ・手をつなぐ親の会懇談会(6/23)
- ・都意見交換会(6/29)
- ・平成 23 年度第 1 回障害者雇用連絡会議(6/30)
- ・立川市自立支援協議会精神専門部会(7/8)
- ・多摩ブロック会(8/4)
- ・立川市自立支援協議会就労専門部会(8/30, 9/13)

(パ テ ィ オ)

- ・立川市自立支援協議会精神専門部会
(6/6, 7/8, 7/25, 9/14)
- ・立川市地域活動支援センター連絡協議会(6/17, 8/26)
- ・立川市精神保健業務連絡会(6/21, 7/19, 8/16, 9/20)
- ・立川市グループホーム連絡協議会(6/23)
- ・立川市退院支援会議(7/14, 9/8)
- ・たちせいれん(7/22)
- ・障害者週間実行委員会(9/8)
- ・いらく定例会(6/16, 8/18, 9/15)

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・ T I L 総会(7/4)
- ・ J I L 研修(7/19,7/20)
- ・ 医療的ケア説明会 (7/25)
- ・ 共同連大会(8/20.21)
- ・ 障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会
ワークショップ(9/30)

(就 労)

- ・ 全重協東京支部オープン会議(6/23)
- ・ 八王子ふらん研修(6/27)
- ・ 広汎性発達障害のコミュニケーショントレーニング* (7/11)
- ・ 就業支援基礎研修(7/27.28.29)
- ・ 職業リハビリテーション実践セミナー(8/5.6.7)

(パ テ ィ オ)

- ・ 立川市障害福祉課 見学(6/24)
- ・ 地域活動支援センターマーキー 見学(7/22)
- ・ 地域活動支援センター連 見学(8/26)

【外部からの見学・研修・イベント】

(H L)

- ・ 実習生(立川市社会福祉協議会 1 名)
- ・ 実習生(あきる野学園 1 名)

(パ テ ィ オ)

- ・ 実習生(杏林大学 2 名)

【講師派遣】

(C I L)

- ・ 明治学院大学(6/3)
- ・ 平成 23 年度福祉教育研修(8/5)
- ・ 東京都ケアマネ研修(8/31)
- ・ ユニバーサルボランティア研修(9/13)
- ・ 桜華女学院(9/27,9/29)
- ・ 明星大学(9/30)

(就 労)

- ・ 立川市特別支援学級小中合同保護者会(9/27)

(パ テ ィ オ)

- ・ 明治学院大学(7/1)

ご寄付等、ありがとうございました

- | | | |
|------------|------------|----------|
| ・ 篠田 秀暁 様 | ・ 柏倉 康成 様 | ・ 武本 寛 様 |
| ・ 小林 恵一 様 | ・ 石射 順子 様 | ・ 清田 昌 様 |
| ・ 諸井 美帆 様 | ・ 内山 綾子 様 | ・ 関 律子 様 |
| ・ 細金 久生 様 | ・ 西山 三枝子 様 | |
| ・ 堀田 哲一郎 様 | ・ 匿名希望 2 名 | (順不同) |

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川

〒190-0023 東京都立川市柴崎町 2-10-16 材ノビル 2F

TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134